

証券コード：3635
令和元年 6 月 3 日

株 主 各 位

神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号
株式会社コーエーテクモホールディングス
代表取締役社長 襟 川 陽 一

第10回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第10回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面又は電磁的方法（インターネット等）により議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、令和元年 6 月 18 日（火曜日）午後 6 時までに、「議決権行使のご案内」（3 頁から 4 頁）のいずれかの方法により議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

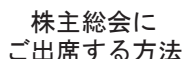
1. 日 時 令和元年 6 月 19 日（水曜日）午前 10 時
2. 場 所 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目 3 番 7 号
横浜ベイホテル東急
地下 2 階 アンバサダーズ ボールルーム
（末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください）
3. 目的事項
 - 報告事項
 1. 第10期（自 平成30年 4 月 1 日 至 平成31年 3 月31日）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第10期（自 平成30年 4 月 1 日 至 平成31年 3 月31日）計算書類報告の件
 - 決議事項
 - 第 1 号議案 剰余金の処分の件
 - 第 2 号議案 取締役11名選任の件

以 上

- ◎当日は軽装（クールビズ）にて実施させていただきますので、株主様におかれましても軽装でご出席くださいますようお願い申し上げます。
- ◎次の事項につきましては、法令及び当社定款第17条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.koeitecmo.co.jp/>）に掲載しておりますので本招集ご通知の提供書面には記載しておりません。
- ① 会社の新株予約権等に関する事項
 - ② 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況
 - ③ 連結計算書類の連結注記表
 - ④ 計算書類の個別注記表
- ◎株主総会参考書類並びに事業報告、連結計算書類及び計算書類に修正が生じた場合には、上記の当社ウェブサイトにて修正後の事項を掲載させていただきます。
- ◎議決権行使書とインターネット等により、重複して議決権を行使された場合は、インターネット等による議決権行使を有効なものとして取り扱わせていただきます。
- ◎インターネット等により、複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使されたものを有効な議決権行使として取り扱わせていただきます。
- ◎本株主総会終了後、経営方針等につきご理解をより深めていただくため、同会場において事業説明会を開催いたしますので、引き続きご参加くださいますようお願い申し上げます。
- ◎本総会の決議結果につきましては、決議通知のご送付に代えて、上記の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。



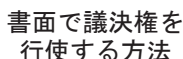
株主総会における議決権は、株主の皆さまの大切な権利です。
後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、議決権を行使してくださいませうお願い申し上げます。
議決権を行使する方法は、以下の3つの方法がございます。



当日ご出席の際は、お手数ながら、同封の議決権行使書用紙を会場受付へご提出ください。

株主総会開催日時

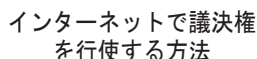
令和元年 6月19日（水曜日）
午前10時



同封の議決権行使書用紙に各議案の賛否をご表示のうえ、ご返送ください。

行使期限

令和元年 6月18日（火曜日）
午後6時到着分まで



次ページの案内に従って、議案の賛否をご入力ください。

行使期限

令和元年 6月18日（火曜日）
午後6時完了分まで

議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

[illegible]

・こちらに議案の賛否をご記入ください。

第 1 号議案

- 賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 否認する場合 >> 「否」の欄に○印

第2号議案

- 全員賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 全員否認する場合 >> 「否」の欄に○印
- 一部の候補者を
 否認する場合 >> 「賛」の欄に○印をし、
 否認する候補者の番号を
 ご記入ください。

書面及びインターネットの両方で議決権行使をされた場合は、インターネットによる議決権行使を有効な議決権行使として取り扱います。

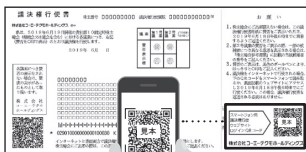
また、インターネットにより複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。

インターネット等による議決権行使のご案内

QRコードを読み取る方法 「スマート行使」

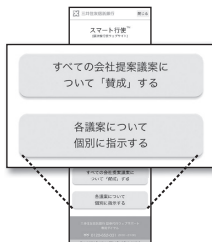
議決権行使コード及びパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを讀取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。



「スマート行使」での議決権行使は1回に限り可能です。

議決権行使後に行使内容を変更する場合は、お手数ですがP向けサイトへアクセスし、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」を入力してログイン、再度議決権行使をお願いいたします。
※QRコードを再度讀取っていただくと、P向けサイトへ遷移出来ます。

議決権行使コード・パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://www.web54.net>

- 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。



「次へすすむ」をクリック

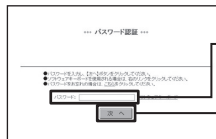
- 2 議決権行使書用紙に記載された「議決権行使コード」をご入力ください。



「議決権行使コード」を入力

「ログイン」をクリック

- 3 議決権行使書用紙に記載された「パスワード」をご入力ください。



「パスワード」を入力

「次へ」をクリック

- 4 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

インターネットによる議決権行使でパソコンやスマートフォン、携帯電話の操作方法などが不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行ウェブサポート 専用ダイヤル
電話番号：0120-652-031（フリーダイヤル）
（受付時間 午前9時～午後9時）

機関投資家の皆様は、株式会社ICJの運営する機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。

(提供書面)

事業報告

(自 平成30年4月1日)
(至 平成31年3月31日)

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業の生産活動には一部に弱さがみられるものの、所得環境の持ち直しと雇用環境の改善により、景気は緩やかに回復いたしました。

ゲーム業界におきましては、家庭用ゲーム市場はSteamをはじめとしたデジタル販売が伸長し、スマートフォンゲーム市場も拡大を続けております。米Google社のゲームストーリーミングサービス「STADIA」、米Apple社のサブスクリプション制ゲームサービス「Apple Arcade」が発表され、注目を集めました。ゲーム市場全体は今後も更なる成長が見込まれます。

このような経営環境下において、当社では当期より3ヶ年の中期経営計画を策定し、その初年度として「グローバルIPの創造と展開」「グローバルビジネスの飛躍」を経営方針に掲げ、各種施策に取り組んでおります。2月には、任天堂株式会社より2019年7月に発売予定のNintendo Switch専用ソフトで、シリーズ最新作『ファイアーエムブレム 風花雪月』の開発に、当社が参画していることが発表されました。3月には、シリーズ7年振りのナンバリングタイトル『DEAD OR ALIVE 6』(PS4、Xbox One、Steam用)を、全世界同時に発売し35万本の販売となりました。本作は基本無料版の配信も開始し、成長著しいeSports分野においても「DEAD OR ALIVE 6 World Championship」を4月より世界各地で開催しております。

これらにより当社グループの当期業績は、売上高389億68百万円(前期比0.1%増)、営業利益120億92百万円(同3.3%増)、経常利益183億7百万円(同0.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益136億94百万円(同5.2%増)となりました。売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各項目は経営統合以来最高の業績となり、親会社株主に帰属する当期純利益については9期連続の増益を達成いたしました。

事業の種類別セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

<エンタテインメント事業>

「シブサワ・コウ」ブランドでは2月に『信長の野望・大志 with パワーアップキット』(PS4、Nintendo Switch、Steam、DMM GAMES用)を、3月には5年ぶりのナンバリングタイトルとなる『Winning Post 9』(PS4、Nintendo

Switch、Steam用)を発売いたしました。スマートフォンゲームでは、当社がIPを許諾した『新三國志』が引き続き好調に推移いたしました。

「ω-Force」ブランドでは、『無双OROCHI 3』（PS4、Nintendo Switch、Xbox One、Steam用）のリピーター販売が順調で、累計出荷本数は70万本を突破いたしました。スマートフォンゲームでは、当社がIPを許諾した『真・三國無双 斬』が収益に貢献しております。

「Team NINJA」ブランドでは、3月に『DEAD OR ALIVE Xtreme 3 Scarlet』（PS4、Nintendo Switch用）をリリースいたしました。また、『仁王 Complete Edition』（PS4、Steam用）のリピーター販売が堅調に推移し、全世界累計販売本数は250万本を突破いたしました。株式会社スクウェア・エニックスと共同で開発しグローバルで配信中の『DISSIDIA FINAL FANTASY OPERA OMNIA』は、国内では2周年、海外でも1周年を迎え、記念キャンペーンにより売上が伸びてまいりました。

「ガスト」ブランドでは、1月に「アトリエ」シリーズ20周年記念作品である『ネルケと伝説の錬金術士たち ～新たな大地のアトリエ～』（PS4、PS Vita、Nintendo Switch、Steam用）を、さらに3月には「アトリエ アーランド」シリーズの最新作『ルルアのアトリエ ～アーランドの錬金術士4～』（PS4、Nintendo Switch用）を発売いたしました。

「ルビーパーティー」ブランドでは、『金色のコルダ オクターヴ』（PS Vita、Nintendo Switch、Steam用）と『遙かなる時空の中で6 DX』（Nintendo Switch用）をリリースいたしました。イベント事業では「ネオロマンス・ライヴ コルダ SONGS」などのイベントを開催し、年間来場者数は全体で9万人となりました。

「midas」ブランドでは、新規スマートフォンゲームの開発に注力しております。

以上の結果により、エンタテインメント事業の売上高は351億20百万円（前期比0.8%減）、セグメント利益は110億78百万円（同1.3%増）となりました。

<SP事業>

年間で7タイトルがリリースされました。パチンコ・パチスロ機への液晶ソフト受託開発が順調に進捗した結果、増収増益となり、SP事業の売上高は16億39百万円（前期比73.4%増）、セグメント利益は5億87百万円（同103.1%増）となりました。

<アミューズメント施設運営事業>

プライズゲーム機が好調で既存店売上高が増加し、黒字転換したことにより、アミューズメント施設運営事業の売上高は15億16百万円（前期比1.3%

減)、セグメント利益は99百万円(前期はセグメント損失3億62百万円)となりました。

<不動産事業>

当社グループが保有する賃貸用不動産は引き続き高い稼働率を維持しており、不動産事業の売上高は7億68百万円(前期比2.0%減)、セグメント利益は2億73百万円(同21.5%減)となりました。

<その他事業>

その他事業の売上高は1億84百万円(前期比68.5%減)、セグメント利益は52百万円(同89.4%減)となりました。

なお、当連結会計年度における販売(売上)実績をセグメント別に示しますと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額	構成比
エンタテインメント事業	35,120百万円	90.1%
S P 事業	1,639百万円	4.2%
アミューズメント施設運営事業	1,516百万円	3.9%
不動産事業	768百万円	2.0%
その他事業	184百万円	0.5%
計	39,228百万円	100.7%
消去又は全社	△260百万円	△0.7%
合計	38,968百万円	100.0%

(2) 設備投資の状況

当連結会計年度に実施しました設備投資の総額は、2億40百万円であります。その主なものは、開発機材等の購入52百万円、アミューズメント施設機器等の購入1億49百万円であります。

(3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(4) 対処すべき課題

今後の景気見通しといたしましては、国内においては雇用・所得環境も改善し緩やかな回復が続くことが期待されます。一方で海外では通商問題や金融市場の変動等の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が想定されます。

ゲーム業界におきましては、家庭用ゲーム市場がデジタル販売により一層シフトし、スマートフォンゲーム市場もグローバルで緩やかに拡大していくことが見込まれます。さらにeSportsでは、リアルスポーツと提携する動きもあり、ワールドワイドでさらに広がることが予想されます。

このような経営環境下において、当社グループは、グループビジョン「世界No.1のエンタテインメント・コンテンツ・プロバイダー」のもと、更なる成長性と収益性の実現に向け挑戦を続けるとともに、「クオリティ&サティスファクション」を商品コンセプトに、高い品質によってお客様に大きな満足を提供してまいります。

2019年3月期から3ヶ年の中期経営計画を掲げ、2021年3月期での売上高510億円、営業利益170億円、経常利益210億円の達成を目指してまいります。具体的には、拡大するグローバル市場に向けて、販売本数が全世界で500万本級のパッケージゲーム、ユーザー売上が月商10億円を超えるスマートフォンゲームを創発してまいります。

中期経営計画の2年目となる2020年3月期は、グループ経営方針として引き続き「グローバルIPの創造と展開」と「グローバルビジネスの飛躍」を掲げております。拡大を続けるグローバル市場において、IPを軸に成長性と収益性の実現を目指してまいります。中期経営計画の達成に向けて、大型タイトルの開発投資をより積極的に行ってまいります。2020年1月には横浜・みなとみらい21地区に新オフィス及びライブハウス型ホールが竣工いたします。この新たな拠点を中心に、世界に向けて新規IPを創出するとともに、eSportsやライブイベントなど多方面にエンタテインメントを展開してまいります。

エンタテインメント事業では、任天堂株式会社より、当社が開発を担当しているNintendo Switch専用ソフト『MARVEL ULTIMATE ALLIANCE 3: The Black Order』（©2019 MARVEL © Nintendo Developed by コーエーテックモゲームス）の発売が夏に予定されております。今後も国内外の有力IPとのコラボレーションを展開するほか、全世界に向けてオリジナルIPを創造してまいります。また、グローバルでeSports事業に本格的に取り組んでまいります。

S P事業及びアミューズメント施設運営事業につきましては、2020年3月期よりセグメント区分を統合しアミューズメント事業といたします。両事業が一体となり、相互に連携しながら中長期的に競争力を強化し効果的かつ効

率的に事業を行ってまいります。

不動産事業では、当社グループが保有する不動産資産を有効活用するとともに、物件管理の向上とコストダウンを進めてまいります。

(5) 財産及び損益の状況の推移

区 分	第7期 (平成28年3月期)	第8期 (平成29年3月期)	第9期 (平成30年3月期)	第10期 (当連結会計年度) (平成31年3月期)
売 上 高 (百万円)	38,332	37,034	38,926	38,968
経 常 利 益 (百万円)	15,755	15,211	18,293	18,307
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (百万円)	10,855	11,624	13,017	13,694
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	86.06	92.05	102.70	108.00
総 資 産 (百万円)	110,925	119,461	128,594	129,192
純 資 産 (百万円)	98,706	106,516	116,242	119,284

(注) 1. 当社は、平成30年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っております。第7期(平成28年3月期)の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、第9期(平成30年3月期)の総資産の金額については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

(6) 重要な親会社及び子会社の状況（平成31年3月31日現在）

① 親会社との関係

当社の親会社は株式会社光優ホールディングスであります。なお、同社の当社に対する議決権比率は45.15%であります。同社と緊密な関係がある者が当社の議決権を有していることから親会社としております。

当社と親会社との間に営業取引はありません。

② 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	当社の議決権比率	主 要 な 事 業 内 容
株式会社コーエーテクモゲームス	9,090百万円	100.00%	パソコン・家庭用ゲームソフト等の企画・開発・販売、オンラインゲーム・モバイルコンテンツの企画・開発・運営、書籍・音楽ソフト・映像ソフト・グッズ等の企画・制作・販売、イベントの企画・運営、不動産事業
株式会社コーエーテクモウェア	100百万円	100.00%	スロット・パチンコの液晶受託開発、アミューズメント施設の企画開発・運営・管理
株式会社コーエーテクモネット	110百万円	100.00%	パソコン・家庭用ゲームソフト等の流通・卸し・通信販売
KOEI TECMO AMERICA Corporation	2百万米ドル	100.00%	米国におけるパソコン・家庭用ゲームソフトの製造・販売
KOEI TECMO EUROPE LIMITED	24百万英ポンド	100.00%	欧州におけるパソコン・家庭用ゲームソフトの製造・販売、不動産事業

③ 事業年度末日における特定完全子会社の状況

会 社 名	住 所	帳簿価額の合計額	当社の総資産額
株式会社コーエーテクモゲームス	神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号	62,429百万円	86,559百万円

(7) 主要な事業内容（平成31年3月31日現在）

事業部門	主要製品・事業内容
エンタテインメント事業	エンタテインメントコンテンツの開発・販売
S P 事業	スロット・パチンコの液晶受託開発、関連ロイヤリティ収入
アミューズメント施設運営事業	アミューズメント施設の企画開発・運営・管理
不動産事業	賃貸用不動産の運用・管理
その他の事業	ベンチャーキャピタル事業等

(8) 主要拠点等（平成31年3月31日現在）

当社本社 神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号
 国内拠点 株式会社コーエーテクモゲームス(神奈川県横浜市港北区)
 株式会社コーエーテクモウェブ(東京都千代田区)
 株式会社コーエーテクモネット(神奈川県横浜市港北区)
 CWS Brains株式会社(東京都千代田区)
 株式会社コーエーテクモキャピタル(神奈川県横浜市港北区)
 株式会社コーエーテクモリブ(神奈川県横浜市港北区)
 海外拠点 KOEI TECMO AMERICA Corporation(アメリカ)
 KOEI TECMO EUROPE LIMITED(イギリス)
 台湾光荣特庫摩股份有限公司(台湾)
 天津光荣特庫摩軟件有限公司(中国)
 北京光荣特庫摩軟件有限公司(中国)
 KOEI TECMO SINGAPORE Pte. Ltd. (シンガポール)
 KOEI TECMO SOFTWARE VIETNAM CO., LTD. (ベトナム)

(9) 従業員の状況（平成31年3月31日現在）

① 企業集団の従業員の状況

事業部門	従業員数	
	社員数	臨時雇用者数
エンタテインメント事業	1,523名	143名
SP事業	41名	1名
アミューズメント施設運営事業	14名	110名
全社（共通）	179名	76名
合計	1,757名	330名

- (注) 1. 社員数は連結会社を含めた就業人数（連結会社外への出向者を除き、連結会社への出向者を含む）であります。また、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含む）は、当連結会計年度の平均人員を記載しております。
2. 全社（共通）として記載されている従業員数は、管理部門、不動産事業及びその他事業に所属している人員数であります。

② 当社の従業員の状況

従業員数		平均年齢	平均勤続年数
社員数	臨時雇用者数		
63名	21名	37.5歳	8.7年

- (注) 1. 社員数は就業人数（社外への出向者を除き、当社への出向者を含む）であります。また、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含む）は、当事業年度の平均人員を記載しております。
2. 平均年齢、平均勤続年数は社員について記載しております。
3. 平均勤続年数の算定にあたっては、当社グループからの転籍により当社で就業している社員については、各社における勤続年数を通算しております。

(10) 主要な借入先（平成31年3月31日現在）

該当事項はありません。

(11) 事業の譲渡、合併等企業再編行為等

該当事項はありません。

(12) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

2. 会社の株式に関する事項（平成31年3月31日現在）

- (1) 発行可能株式総数 350,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 129,268,048株
 (3) 株主数 13,646名
 (4) 大株主（上位10名）

株 主 名	持 株 数	持株比率
株 式 会 社 光 優 ホ ー ル デ ィ ン グ ス	56,837,083株	44.96%
環 境 科 学 株 式 会 社	9,662,703株	7.64%
株 式 会 社 光 優	8,251,200株	6.53%
日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信 託 銀 行 株 式 会 社 （ 信 託 口 ）	5,760,000株	4.56%
日 本 ト ラ ス テ ィ ・ サ ー ビ ス 信 託 銀 行 株 式 会 社 （ 信 託 口 ）	5,451,600株	4.31%
日 本 ト ラ ス テ ィ ・ サ ー ビ ス 信 託 銀 行 株 式 会 社 （ 信 託 口 9 ）	3,029,800株	2.40%
襟 川 陽 一	2,733,967株	2.16%
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	2,662,260株	2.11%
襟 川 恵 子	2,646,055株	2.09%
襟 川 芽 衣	1,571,760株	1.24%

- (注) 1. 当社は、自己株式2,864,167株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 3. 平成30年5月7日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書（変更報告書）において、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社が平成30年4月30日現在で6,763,540株を所有している旨が記載されているものの、当社として平成31年3月31日現在における実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

(5) その他株式に関する重要な事項

当社は、平成30年10月1日付で普通株式1株を1.2株に分割しました。これにより発行済株式の総数は、107,723,374株から21,544,674株増加し、129,268,048株となりました。

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等（平成31年3月31日現在）

会社における地位	氏 名	担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況
代表取締役会長	襟 川 恵 子	株式会社光優ホールディングス代表取締役専務 株式会社コーエーテクモゲームス取締役名誉会長 KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director
代表取締役社長	襟 川 陽 一	株式会社光優ホールディングス代表取締役社長 株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役会長 (CEO) 株式会社コーエーテクモウェア取締役名誉会長 株式会社コーエーテクモネット代表取締役会長 KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director President and COO KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director President and COO
代表取締役副社長	鯉 沼 久 史	株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役社長 (COO) 株式会社コーエーテクモウェア代表取締役会長 株式会社コーエーテクモネット代表取締役社長 KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director
取締役専務執行役員CFO	浅 野 健 二 郎	管理本部長 株式会社コーエーテクモゲームス取締役 KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director
取 締 役	早 矢 仕 洋 介	株式会社コーエーテクモゲームス取締役専務執行役員
取 締 役	阪 口 一 芳	株式会社コーエーテクモゲームス取締役 株式会社コーエーテクモウェア代表取締役社長
取 締 役	襟 川 芽 衣	株式会社光優ホールディングス常務取締役 株式会社コーエーテクモゲームス取締役
取 締 役 顧 問	柿 原 康 晴	株式会社コーエーテクモゲームス取締役顧問
取締役（社外）	手 嶋 雅 夫	ティー・アンド・ティー株式会社代表取締役社長 パーセク株式会社代表取締役社長 株式会社ゼットン取締役（社外）
取締役（社外）	小 林 宏	
取締役（社外）	佐 藤 辰 男	
常 勤 監 査 役	福 井 清 之 助	株式会社コーエーテクモゲームス監査役 株式会社コーエーテクモウェア監査役 株式会社コーエーテクモネット監査役
常勤監査役(社外)	木 村 正 樹	
監 査 役	森 島 悟	
監査役（社外）	北 村 俊 和	株式会社サンオータス監査役（社外）

- (注) 1. 当事業年度中における取締役及び監査役の地位、担当及び重要な兼職の異動は次のとおりであります。
- (1) 取締役専務執行役員CFO浅野健二郎氏は、平成30年6月20日開催の第9回定時株主総会において、取締役に選任され就任いたしました。
 - (2) 取締役早矢仕洋介氏は、平成30年6月20日開催の第9回定時株主総会において、取締役に選任され就任いたしました。
 - (3) 取締役佐藤辰男氏は、平成30年6月20日開催の第9回定時株主総会において、取締役に選任され就任いたしました。また、同氏は平成30年6月20日をもって、カドカワ株式会社取締役相談役及び学校法人角川ドワンゴ学園理事長を退任いたしました。
2. 当事業年度末日後の取締役及び監査役の地位、担当及び重要な兼職の異動はありません。
3. 当社は、社外取締役である手嶋雅夫氏、小林宏氏及び佐藤辰男氏並びに社外監査役である木村正樹氏及び北村俊和氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
4. 常勤監査役木村正樹氏は、昭和63年2月から平成27年5月まで株式会社横浜銀行において国際的な金融取引等に従事しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
5. 監査役森島悟氏は、株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）の財務経理部長を経験しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
6. 監査役北村俊和氏は、昭和51年4月から平成24年11月まで横浜銀行グループにおいて役職員として勤務しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。

(2) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等の額

区 分	支 払 人 員	支 払 額
取 締 役 (うち社外取締役)	11名 (3名)	502百万円 (21百万円)
監 査 役 (うち社外監査役)	4名 (2名)	25百万円 (10百万円)
合 計 (うち社外役員)	15名 (5名)	527百万円 (32百万円)

- (注) 1. 取締役の報酬限度額は、平成30年6月20日開催の第9回定時株主総会において、年額800百万円以内（うち社外取締役分50百万円以内。ただし、使用人分の給与は含まない）と決議いただいております。
2. 上記1. の報酬限度額と別枠で、取締役のストック・オプション報酬額として、下記のとおり決議いただいております。
- (1) 平成26年6月25日開催の第5回定時株主総会
 割当日における新株予約権1個当たりの公正価額（割当日において適用すべき諸条件を基にブラック・ショールズ・モデルを用いて算定）に、割当日において在任する取締役に割り当てる新株予約権（800個を上限）を乗じた額を付与する旨
 - (2) 平成28年6月22日開催の第7回定時株主総会
 割当日における新株予約権1個当たりの公正価額（割当日において適用すべき諸条件を基にブラック・ショールズ・モデルを用いて算定）に、割当日において在任する取締役に割り当てる新株予約権（1,000個を上限）を乗じた額を付与する旨
 - (3) 平成30年6月20日開催の第9回定時株主総会
 割当日における新株予約権1個当たりの公正価額（割当日において適用すべき諸条件を基にブラック・ショールズ・モデルを用いて算定）に、割当日において在任する取締役に割り当てる新株予約権（1,200個を上限）を乗じた額を付与する旨
3. 監査役の報酬限度額は、平成26年6月25日開催の第5回定時株主総会において、年額50百万円以内と決議いただいております。

(3) 社外役員に関する事項

① 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

- ・取締役手嶋雅夫氏は、ティー・アンド・ティー株式会社の代表取締役社長、パーセク株式会社の代表取締役社長及び株式会社ゼットンの社外取締役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・監査役北村俊和氏は、株式会社サンオータスの社外監査役であります。当社と同社との間には特別の関係はありません。

② 当事業年度における主な活動状況

地 位	氏 名	活 動 状 況
取 締 役	手 嶋 雅 夫	当事業年度に開催された取締役会30回すべてに出席いたしました。数々の事業を立ち上げ、要職を歴任してこられた経営者としての豊富な経験と幅広い知識に基づき、適宜、必要な発言を行っております。
取 締 役	小 林 宏	当事業年度に開催された取締役会30回のうち29回に出席いたしました。エンタテインメント業界において長年にわたり要職を歴任してこられた経営者としての豊富な経験と幅広い知識に基づき、適宜、必要な発言を行っております。
取 締 役	佐 藤 辰 男	平成30年6月20日就任以降、当事業年度に開催された取締役会22回のうち21回に出席いたしました。総合エンタテインメント企業グループである角川グループにおいて長年にわたり要職を歴任してこられた経営者としての豊富な経験と幅広い知識に基づき、適宜、必要な発言を行っております。
監 査 役	木 村 正 樹	当事業年度に開催された取締役会30回のうち29回、監査役会7回すべてに出席いたしました。長年にわたり金融機関において国際的な金融取引等に携わられた豊富な経験と専門的な知識に基づき、適宜、必要な発言を行っております。
監 査 役	北 村 俊 和	当事業年度に開催された取締役会30回、監査役会7回すべてに出席いたしました。長年にわたる金融機関における役職員としての豊富な経験と幅広い知識に基づき、適宜、必要な発言を行っております。

4. 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称

有限責任 あずさ監査法人

(2) 会計監査人の報酬等の額

	支 払 額
当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額	41百万円
当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	70百万円

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査役会は、取締役、社内関係部門等及び会計監査人から必要な資料を入手しかつ報告を受け、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務執行状況及び報酬見積りの算出根拠などについて確認し、審議した結果、これらについて適切であると判断したため、会計監査人の報酬等の額について同意しております。
3. 当社の重要な子会社のうち、KOEI TECMO EUROPE LIMITEDについては、当社の会計監査人以外の監査法人（外国におけるこれらの資格に相当する資格を有する者を含む）の監査を受けております。

(3) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

~~~~~  
(注) 本事業報告中に記載の金額及び株式数は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。また、比率等は表示桁未満の端数を四捨五入して表示しております。

# 連結貸借対照表

(平成31年 3月31日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部                |                | 負 債 の 部                 |                |
|------------------------|----------------|-------------------------|----------------|
| 科 目                    | 金 額            | 科 目                     | 金 額            |
| <b>流 動 資 産</b>         | <b>19,773</b>  | <b>流 動 負 債</b>          | <b>8,957</b>   |
| 現 金 及 び 預 金            | 7,056          | 支払手形及び買掛金               | 565            |
| 受取手形及び売掛金              | 8,359          | 未 払 金                   | 1,269          |
| 有 価 証 券                | 126            | 未 払 法 人 税 等             | 2,240          |
| 商 品 及 び 製 品            | 78             | 賞 与 引 当 金               | 1,089          |
| 仕 掛 品                  | 59             | 役 員 賞 与 引 当 金           | 176            |
| 原材料及び貯蔵品               | 46             | 返 品 調 整 引 当 金           | 0              |
| そ の 他 流 動 資 産          | 4,051          | 売 上 値 引 当 金             | 269            |
| 貸 倒 引 当 金              | △5             | ポ イ ン ト 引 当 金           | 11             |
| <b>固 定 資 産</b>         | <b>109,419</b> | 受 注 損 失 引 当 金           | 118            |
| <b>有 形 固 定 資 産</b>     | <b>28,764</b>  | そ の 他 流 動 負 債           | 3,216          |
| 建 物 及 び 構 築 物          | 10,156         | <b>固 定 負 債</b>          | <b>950</b>     |
| 土 地                    | 14,615         | 繰 延 税 金 負 債             | 157            |
| 建 設 仮 勘 定              | 3,524          | そ の 他 固 定 負 債           | 792            |
| そ の 他 有 形 固 定 資 産      | 467            | <b>負 債 合 計</b>          | <b>9,908</b>   |
| <b>無 形 固 定 資 産</b>     | <b>144</b>     | <b>純 資 産 の 部</b>        |                |
| そ の 他 無 形 固 定 資 産      | 144            | <b>株 主 資 本</b>          | <b>119,204</b> |
| <b>投 資 そ の 他 の 資 産</b> | <b>80,510</b>  | 資 本 金                   | 15,000         |
| 投 資 有 価 証 券            | 76,355         | 資 本 剰 余 金               | 26,389         |
| 繰 延 税 金 資 産            | 3,169          | 利 益 剰 余 金               | 80,404         |
| 退 職 給 付 に 係 る 資 産      | 16             | 自 己 株 式                 | △2,588         |
| そ の 他 投 資              | 969            | そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額   | △333           |
| <b>資 産 合 計</b>         | <b>129,192</b> | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 1,355          |
|                        |                | 土 地 再 評 価 差 額 金         | △2,166         |
|                        |                | 為 替 換 算 調 整 勘 定         | 703            |
|                        |                | 退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額 | △226           |
|                        |                | <b>新 株 予 約 権</b>        | <b>413</b>     |
|                        |                | <b>純 資 産 合 計</b>        | <b>119,284</b> |
|                        |                | <b>負 債 純 資 産 合 計</b>    | <b>129,192</b> |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連 結 損 益 計 算 書

( 自 平成30年 4 月 1 日 )  
( 至 平成31年 3 月 31 日 )

(単位：百万円)

| 科 目                           | 金 額   |        |
|-------------------------------|-------|--------|
| 売 上 高                         |       | 38,968 |
| 売 上 原 価                       |       | 19,052 |
| 売 上 総 利 益                     |       | 19,915 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費           |       | 7,823  |
| 営 業 利 益                       |       | 12,092 |
| 営 業 外 収 益                     |       |        |
| 受 取 利 息                       | 1,748 |        |
| 受 取 配 当 金                     | 2,243 |        |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 益             | 3,936 |        |
| 為 替 差 益                       | 145   |        |
| そ の 他                         | 375   | 8,450  |
| 営 業 外 費 用                     |       |        |
| 投 資 有 価 証 券 評 価 損             | 1,645 |        |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 損             | 67    |        |
| 有 価 証 券 償 還 損                 | 432   |        |
| そ の 他                         | 88    | 2,234  |
| 経 常 利 益                       |       | 18,307 |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益         |       | 18,307 |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税       | 5,006 |        |
| 法 人 税 等 調 整 額                 | △393  | 4,613  |
| 当 期 純 利 益                     |       | 13,694 |
| 親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 |       | 13,694 |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結株主資本等変動計算書

( 自 平成30年4月1日 )  
( 至 平成31年3月31日 )

(単位：百万円)

|                                       | 株 主 資 本 |        |        |         |         |
|---------------------------------------|---------|--------|--------|---------|---------|
|                                       | 資 本 金   | 資本剰余金  | 利益剰余金  | 自 己 株 式 | 株主資本合計  |
| 当連結会計年度期首残高                           | 15,000  | 26,175 | 73,269 | △1,266  | 113,178 |
| 当連結会計年度変動額                            |         |        |        |         |         |
| 剰 余 金 の 配 当                           |         |        | △6,559 |         | △6,559  |
| 親会社株主に帰属する<br>当 期 純 利 益               |         |        | 13,694 |         | 13,694  |
| 自 己 株 式 の 取 得                         |         |        |        | △1,555  | △1,555  |
| 自 己 株 式 の 処 分                         |         | 213    |        | 233     | 446     |
| 株主資本以外の項目の当連結会<br>計 年 度 変 動 額 ( 純 額 ) |         |        |        |         |         |
| 当連結会計年度変動額合計                          | －       | 213    | 7,135  | △1,322  | 6,026   |
| 当連結会計年度末残高                            | 15,000  | 26,389 | 80,404 | △2,588  | 119,204 |

|                                       | そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額         |                    |                    |                  |                   | 新株予約権 | 純資産合計   |
|---------------------------------------|-------------------------------|--------------------|--------------------|------------------|-------------------|-------|---------|
|                                       | そ の 他<br>有 価 証 券<br>評 価 差 額 金 | 土 地 再 評 価<br>差 額 金 | 為 替 換 算<br>調 整 勘 定 | 退職給付に係<br>る調整累計額 | その他の包括<br>利益累計額合計 |       |         |
| 当連結会計年度期首残高                           | 4,885                         | △3,115             | 997                | △48              | 2,719             | 345   | 116,242 |
| 当連結会計年度変動額                            |                               |                    |                    |                  |                   |       |         |
| 剰 余 金 の 配 当                           |                               |                    |                    |                  |                   |       | △6,559  |
| 親会社株主に帰属する<br>当 期 純 利 益               |                               |                    |                    |                  |                   |       | 13,694  |
| 自 己 株 式 の 取 得                         |                               |                    |                    |                  |                   |       | △1,555  |
| 自 己 株 式 の 処 分                         |                               |                    |                    |                  |                   |       | 446     |
| 株主資本以外の項目の当連結会<br>計 年 度 変 動 額 ( 純 額 ) | △3,529                        | 948                | △293               | △178             | △3,052            | 68    | △2,984  |
| 当連結会計年度変動額合計                          | △3,529                        | 948                | △293               | △178             | △3,052            | 68    | 3,041   |
| 当連結会計年度末残高                            | 1,355                         | △2,166             | 703                | △226             | △333              | 413   | 119,284 |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸 借 対 照 表

(平成31年 3月31日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部       |        | 負 債 の 部         |        |
|---------------|--------|-----------------|--------|
| 科 目           | 金 額    | 科 目             | 金 額    |
| 流 動 資 産       | 13,955 | 流 動 負 債         | 423    |
| 現 金 及 び 預 金   | 464    | 未 払 金           | 66     |
| 売 掛 金         | 6      | 未 払 費 用         | 27     |
| 原材料及び貯蔵品      | 1      | 未 払 法 人 税 等     | 49     |
| 前 払 費 用       | 20     | 未 払 消 費 税 等     | 17     |
| 関係会社短期貸付金     | 12,167 | 賞 与 引 当 金       | 38     |
| 未収還付法人税等      | 1,280  | 役 員 賞 与 引 当 金   | 173    |
| そ の 他 流 動 資 産 | 15     | そ の 他 流 動 負 債   | 52     |
| 固 定 資 産       | 72,603 | 固 定 負 債         | 37     |
| 有 形 固 定 資 産   | 13     | 繰 延 税 金 負 債     | 34     |
| 建 物           | 0      | そ の 他 固 定 負 債   | 2      |
| 工具、器具及び備品     | 2      | 負 債 合 計         | 460    |
| その他有形固定資産     | 11     | 純 資 産 の 部       |        |
| 無 形 固 定 資 産   | 6      | 株 主 資 本         | 85,685 |
| ソ フ ト ウ ェ ア   | 6      | 資 本 金           | 15,000 |
| 投資その他の資産      | 72,583 | 資 本 剰 余 金       | 57,457 |
| 投 資 有 価 証 券   | 31     | 資 本 準 備 金       | 56,766 |
| 関 係 会 社 株 式   | 72,029 | そ の 他 資 本 剰 余 金 | 690    |
| 関係会社長期貸付金     | 475    | 利 益 剰 余 金       | 15,816 |
| 前 払 年 金 費 用   | 9      | そ の 他 利 益 剰 余 金 | 15,816 |
| そ の 他 投 資     | 37     | 繰 越 利 益 剰 余 金   | 15,816 |
| 資 産 合 計       | 86,559 | 自 己 株 式         | △2,588 |
|               |        | 新 株 予 約 権       | 413    |
|               |        | 純 資 産 合 計       | 86,098 |
|               |        | 負 債 純 資 産 合 計   | 86,559 |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

( 自 平成30年 4 月 1 日 )  
( 至 平成31年 3 月 31 日 )

(単位：百万円)

| 科 目                   | 金 額   |        |
|-----------------------|-------|--------|
| 営 業 収 益               |       |        |
| 関 係 会 社 受 取 配 当 金     | 8,918 |        |
| 業 務 受 託 収 入           | 1,794 | 10,712 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費   |       | 1,778  |
| 営 業 利 益               |       | 8,934  |
| 営 業 外 収 益             |       |        |
| 受 取 利 息               | 20    |        |
| そ の 他                 | 21    | 42     |
| 営 業 外 費 用             |       |        |
| そ の 他                 | 0     | 0      |
| 経 常 利 益               |       | 8,975  |
| 税 引 前 当 期 純 利 益       |       | 8,975  |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | 198   |        |
| 法 人 税 等 調 整 額         | 1     | 200    |
| 当 期 純 利 益             |       | 8,775  |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書

( 自 平成30年 4 月 1 日 )  
( 至 平成31年 3 月 31 日 )

(単位：百万円)

|                                          | 株 主 資 本 |           |               |             |                     |             |         |             |
|------------------------------------------|---------|-----------|---------------|-------------|---------------------|-------------|---------|-------------|
|                                          | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |               |             | 利 益 剰 余 金           |             | 自 己 株 式 | 株 主 資 本 合 計 |
|                                          |         | 資 準 備 金   | そ の 他 本 金 剰 余 | 資 本 剰 余 金 計 | その他利益剰余金<br>繰越利益剰余金 | 利 益 剰 余 金 計 |         |             |
| 当 期 首 残 高                                | 15,000  | 56,766    | 476           | 57,243      | 13,600              | 13,600      | △1,266  | 84,577      |
| 当 期 変 動 額                                |         |           |               |             |                     |             |         |             |
| 剰 余 金 の 配 当                              |         |           |               |             | △6,559              | △6,559      |         | △6,559      |
| 当 期 純 利 益                                |         |           |               |             | 8,775               | 8,775       |         | 8,775       |
| 自 己 株 式 の 取 得                            |         |           |               |             |                     |             | △1,555  | △1,555      |
| 自 己 株 式 の 処 分                            |         |           | 213           | 213         |                     |             | 233     | 446         |
| 株 主 資 本 以 外 の 項 目 の<br>当 期 変 動 額 ( 純 額 ) |         |           |               |             |                     |             |         |             |
| 当 期 変 動 額 合 計                            | —       | —         | 213           | 213         | 2,216               | 2,216       | △1,322  | 1,107       |
| 当 期 末 残 高                                | 15,000  | 56,766    | 690           | 57,457      | 15,816              | 15,816      | △2,588  | 85,685      |

|                                          | 新 株 予 約 権 | 純 資 産 計 |
|------------------------------------------|-----------|---------|
| 当 期 首 残 高                                | 345       | 84,922  |
| 当 期 変 動 額                                |           |         |
| 剰 余 金 の 配 当                              |           | △6,559  |
| 当 期 純 利 益                                |           | 8,775   |
| 自 己 株 式 の 取 得                            |           | △1,555  |
| 自 己 株 式 の 処 分                            |           | 446     |
| 株 主 資 本 以 外 の 項 目 の<br>当 期 変 動 額 ( 純 額 ) | 68        | 68      |
| 当 期 変 動 額 合 計                            | 68        | 1,175   |
| 当 期 末 残 高                                | 413       | 86,098  |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結計算書類に係る会計監査人の会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

令和元年 5 月 17 日

株式会社コーエーテクモホールディングス

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 中 嶋 歩 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 越 智 一 成 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社コーエーテクモホールディングスの平成30年4月1日から平成31年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。



監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社コーエーテクモホールディングス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 計算書類に係る会計監査人の会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

令和元年 5 月 17 日

株式会社コーエーテクモホールディングス

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 中 嶋 歩 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 越 智 一 成 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社コーエーテクモホールディングスの平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第10期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第10期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に

関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

令和元年 5月20日

株式会社コーエーテクモホールディングス 監査役会

|              |           |
|--------------|-----------|
| 常勤監査役        | 福 井 清之助 ㊞ |
| 常勤監査役（社外監査役） | 木 村 正 樹 ㊞ |
| 監 査 役        | 森 島 悟 ㊞   |
| 社外監査役        | 北 村 俊 和 ㊞ |

以 上

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要政策の一つとして位置付けており、利益還元の基本方針としては、「配当金に自社株買付けを加えた連結年間総配分性向50%、あるいは1株当たり年間配当50円」としております。

当社は、平成31年4月1日に経営統合10周年を迎えました。当期の業績も当初予想を上回り、経営統合以来9期連続での最高益更新となりました。これも株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様に感謝の意を表するため、当期の期末配当について、以下のとおり、1株当たり普通配当50円に、経営統合10周年記念配当5円を加えさせていただき、合計55円といたしたいと存じます。

#### 1. 配当財産の種類

金銭といたします。

#### 2. 配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき金55円（うち、普通配当50円、記念配当5円）といたします。

なお、この場合の配当総額は6,952,213,455円となります。

#### 3. 剰余金の配当が効力を生じる日

令和元年6月20日といたします。

## 第2号議案 取締役11名選任の件

取締役全員（11名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役11名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                                                                     | ふ り が な<br>氏 名<br>(生 年 月 日)          | 略 歴、 当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 所有する当<br>社の株式数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                              | えり かわ けい こ<br>襟 川 恵 子<br>(昭和24年1月3日) | <p>昭和53年7月 株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）専務取締役</p> <p>平成4年6月 同社代表取締役副社長</p> <p>平成11年4月 同社代表取締役社長</p> <p>平成12年6月 株式会社コーエーネット（現株式会社コーエーテクモネット）取締役副会長</p> <p>平成13年6月 株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）代表取締役会長<br/>株式会社コーエーネット（現株式会社コーエーテクモネット）取締役会長<br/>KOEI Corporation（現KOEI TECMO AMERICA Corporation）Board Director Chairman and CEO</p> <p>平成17年6月 株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）ファウンダー取締役会長</p> <p>平成18年4月 同社ファウンダー取締役名誉会長<br/>株式会社コーエーネット（現株式会社コーエーテクモネット）取締役名誉会長</p> <p>平成21年4月 当社取締役</p> <p>平成21年6月 当社取締役名誉会長</p> <p>平成23年1月 株式会社コーエーテクモゲームス取締役名誉会長<br/>株式会社コーエーテクモウェア取締役名誉会長</p> <p>平成25年6月 株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役会長<br/>当社代表取締役会長（現任）</p> <p>平成26年6月 TECMO KOEI EUROPE LIMITED（現KOEI TECMO EUROPE LIMITED）Board Director（現任）</p> <p>平成27年4月 株式会社コーエーテクモゲームス取締役名誉会長（現任）</p> <p>平成27年11月 株式会社光優ホールディングス代表取締役専務（現任）</p> <p>（重要な兼職の状況）<br/>株式会社光優ホールディングス代表取締役専務<br/>株式会社コーエーテクモゲームス取締役名誉会長<br/>KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director</p> | 2,646,055株     |
| <p>【取締役候補者とした理由】</p> <p>襟川恵子氏は、株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）の創業以来、経営者、ファイナンスの責任者として、会社の発展及び経営基盤の強化に努めてきました。また、様々な業界団体を通じてゲーム業界全体の地位向上及び発展に尽力したことにより、「平成27年 秋の褒章」において、藍綬褒章を受章しました。</p> <p>女性経営者としての独自の視点及び豊富な経営経験を有しており、当社の発展及び更なる企業価値向上に不可欠であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p> |                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                |

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ふ り が な<br>氏 名<br>( 生 年 月 日 )           | 略 歴、 当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 所有する当<br>社の株式数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | えり かわ よう いち<br>襟 川 陽 一<br>(昭和25年10月26日) | <p>昭和53年 7 月 株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）設立 代表取締役社長</p> <p>平成11年 4 月 同社代表取締役会長</p> <p>平成13年 6 月 同社取締役最高顧問</p> <p>平成17年 6 月 同社ファウンダー取締役最高顧問</p> <p>平成21年 4 月 当社取締役</p> <p>平成21年 6 月 当社取締役最高顧問</p> <p>平成22年11月 当社代表取締役社長（現任）<br/>株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役社長<br/>株式会社コーエーテクモウェア取締役<br/>株式会社コーエーテクモネット取締役<br/>TECMO KOEI AMERICA Corporation（現<br/>KOEI TECMO AMERICA Corporation）<br/>Board Director President and COO<br/>（現任）</p> <p>平成22年12月 TECMO KOEI EUROPE LIMITED（現KOEI<br/>TECMO EUROPE LIMITED）Board<br/>Director President and COO（現任）</p> <p>平成27年 4 月 株式会社コーエーテクモゲームス代表<br/>取締役会長（CEO）（現任）</p> <p>平成27年11月 株式会社光優ホールディングス代表取<br/>締役社長（現任）</p> <p>平成30年 4 月 株式会社コーエーテクモウェア取締<br/>役名誉会長（現任）<br/>株式会社コーエーテクモネット代表取<br/>締役会長（現任）</p> <p>（重要な兼職の状況）<br/>株式会社光優ホールディングス代表取締役社長<br/>株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役会長（CEO）<br/>株式会社コーエーテクモウェア取締役名誉会長<br/>株式会社コーエーテクモネット代表取締役会長<br/>KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director<br/>President and COO<br/>KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director<br/>President and COO</p> | 2, 733, 967株   |
| <p>【取締役候補者とした理由】</p> <p>襟川陽一氏は、株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）の創業以来、経営者として強いリーダーシップを発揮し、会社の発展を牽引してきました。また、ゲームプロデューサー シブサワ・コウとして「信長の野望」、「三國志」をはじめとした当社グループを代表するゲームを多数生み出し、エンタテインメント企業としての当社の企業価値向上に努めてきました。</p> <p>豊富な経営経験を有する経営者及び卓越したゲームプロデューサーであることから、当社の発展及び更なる企業価値向上に不可欠であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p> |                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                |



| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                                         | ふ り が な<br>氏 名<br>( 生 年 月 日 )       | 略 歴、 当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 所有する当<br>社の株式数 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3                                                                                                                                                                                                                                                  | こいぬま ひさし<br>鯉 沼 久 史<br>(昭和46年10月2日) | 平成6年4月 株式会社コーエー（現株式会社コーエーテックモゲームス）入社<br>平成18年4月 同社執行役員<br>平成20年7月 同社常務執行役員<br>平成21年6月 当社執行役員<br>テクモ株式会社執行役員<br>平成22年4月 株式会社コーエーテックモゲームス常務<br>執行役員<br>平成23年4月 同社専務取締役<br>平成24年6月 当社取締役<br>平成25年6月 株式会社コーエーテックモゲームス取締<br>役副社長<br>平成27年4月 同社代表取締役社長（COO）（現任）<br>KOEI TECMO AMERICA Corporation<br>Board Director（現任）<br>KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board<br>Director（現任）<br>平成30年4月 当社代表取締役副社長（現任）<br>株式会社コーエーテックモウェア代表<br>取締役会長（現任）<br>株式会社コーエーテックモネット代表取<br>締役社長（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>株式会社コーエーテックモゲームス代表取締役社長（COO）<br>株式会社コーエーテックモウェア代表取締役会長<br>株式会社コーエーテックモネット代表取締役社長<br>KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director<br>KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director | 35,568株        |
| <b>【取締役候補者とした理由】</b><br>鯉沼久史氏は、株式会社コーエー（現株式会社コーエーテックモゲームス）に入社以来、ゲーム開発者として現場経験を重ね、「無双シリーズ」をはじめとした当社グループを代表するゲームの開発や、他社IPとのコラボ作品の展開を通じ、当社グループのコア事業であるエンタテインメント事業を牽引してきました。<br>次世代経営層を先導する人材であり、当社の発展及び更なる企業価値向上に必要であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。 |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                               | ふ り が な<br>氏 名<br>(生 年 月 日)           | 略 歴、当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 所有する当<br>社の株式数 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 4                                                                                                                                                                                                                                        | あさ の けんじろう<br>浅 野 健二郎<br>(昭和35年7月24日) | 平成14年5月 株式会社コーエー（現株式会社コーエー<br>テクモゲームス）入社 執行役員<br>平成18年4月 同社常務執行役員<br>平成20年1月 KOEI Corporation (現KOEI TECMO AMERICA<br>Corporation) Board Director (現任)<br>平成21年4月 当社執行役員CFO<br>株式会社コーエー（現株式会社コーエー<br>テクモゲームス）専務取締役執行役員<br>平成22年4月 当社専務執行役員CFO 管理本部長<br>株式会社コーエーテクモウェア専務<br>取締役<br>平成29年4月 株式会社コーエーテクモゲームス取締<br>役（現任）<br>平成30年6月 当社取締役専務執行役員CFO 管理本<br>部長（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>株式会社コーエーテクモゲームス取締役<br>KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director | 9,744株         |
| <b>【取締役候補者とした理由】</b><br>浅野健二郎氏は、株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）に入社以来、主<br>に管理部門の責任者として経験・実績を重ねるとともに、経営統合後はCFOとして当社の経営を<br>支えてきました。<br>CFO及び管理本部長としての実績から、当社の発展及び更なる企業価値向上に必要であると判<br>断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。                            |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |
| 5                                                                                                                                                                                                                                        | はやし よう すけ<br>早矢仕 洋 介<br>(昭和54年2月9日)   | 平成13年4月 テクモ株式会社入社<br>平成22年4月 株式会社コーエーテクモゲームス執行<br>役員<br>平成29年4月 同社常務執行役員<br>平成30年4月 同社取締役専務執行役員（現任）<br>平成30年6月 当社取締役（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>株式会社コーエーテクモゲームス取締役専務執行役員                                                                                                                                                                                                                                                                                | 5,904株         |
| <b>【取締役候補者とした理由】</b><br>早矢仕洋介氏は、テクモ株式会社に入社以来、ゲーム開発者として現場経験を重ね、近年で<br>はω-Forceブランド及びTeam NINJAブランドを率い、「仁王」をはじめとした主要タイトルの<br>開発に携わり、グローバルIPの創造と展開に著しく貢献してきました。<br>次世代経営層を担う人材であり、当社の発展及び更なる企業価値向上に必要であると判断<br>し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。 |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                    | ふ り が な<br>氏 名<br>( 生 年 月 日 )              | 略 歴、 当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 所有する当<br>社の株式数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 6                                                                                                                                                                                             | さ か ぐ ち か ず よ し<br>阪 口 一 芳<br>(昭和33年2月20日) | <p>平成15年3月 テクモウエーブ株式会社（現株式会社<br/>コーエーテクモウエーブ）取締役</p> <p>平成15年6月 テクモ株式会社取締役</p> <p>平成16年6月 同社常務取締役</p> <p>テクモウエーブ株式会社（現株式会社<br/>コーエーテクモウエーブ）常務取締役</p> <p>平成17年4月 同社代表取締役専務</p> <p>平成18年1月 同社代表取締役社長（現任）</p> <p>平成20年11月 テクモ株式会社常務執行役員</p> <p>平成21年1月 同社代表取締役社長</p> <p>平成21年4月 当社取締役（現任）</p> <p>株式会社コーエー（現株式会社コーエー<br/>テクモゲームス）取締役（現任）</p> <p>平成22年1月 TECMO KOEI AMERICA Corporation（現<br/>KOEI TECMO AMERICA Corporation）<br/>Board Director</p> <p>平成22年4月 株式会社コーエーテクモネット取締役<br/>TECMO KOEI EUROPE LIMITED（現KOEI<br/>TECMO EUROPE LIMITED）Board<br/>Director</p> <p>平成25年4月 株式会社コーエーテクモネット代表取<br/>締役社長</p> <p>（重要な兼職の状況）</p> <p>株式会社コーエーテクモゲームス取締役</p> <p>株式会社コーエーテクモウエーブ代表取締役社長</p> | 27,984株        |
| <p>【取締役候補者とした理由】</p> <p>阪口一芳氏は、当社グループ各社の要職を歴任し、経営の経験・実績を重ねるとともに、アミューズメント施設運営事業、ＳＰ事業やゲームソフトの拡販事業に従事してきました。</p> <p>経営者として複数の事業に従事した豊富な経験を有しており、当社の事業拡大に必要であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p> |                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                |

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                     | ふ り が な<br>氏 名<br>( 生 年 月 日 )           | 略 歴、当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                          | 所有する当<br>社の株式数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 7                                                                                                                                                                                                                              | えり かわ め い<br>襟 川 芽 衣<br>(昭和51年4月30日)    | 平成22年6月 株式会社コーエーテクモゲームス監査役<br>平成25年7月 同社取締役 (現任)<br>平成27年6月 当社取締役 (現任)<br>平成27年11月 株式会社光優ホールディングス取締役<br>平成29年4月 同社常務取締役 (現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社光優ホールディングス常務取締役<br>株式会社コーエーテクモゲームス取締役                                                                                                     | 1,571,760株     |
| <b>【取締役候補者とした理由】</b><br>襟川芽衣氏は、当社及び株式会社コーエーテクモゲームスの取締役として経営の経験を重ねるとともに、ルビーパーティーブランドを率い、女性をメインターゲットとしたゲーム開発及びイベント企画・運営の責任者として、IPの多方面展開に努めてきました。<br>女性ならではの視点から、当社の事業拡大及び当社グループの女性活躍を推進するために必要であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。 |                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |
| 8                                                                                                                                                                                                                              | かき はら やす はる<br>柿 原 康 晴<br>(昭和45年12月30日) | 平成13年6月 テクモ株式会社監査役<br>平成16年6月 同社取締役<br>平成18年3月 テクモウェア株式会社 (現株式会社コーエーテクモウェア) 取締役<br>平成19年3月 テクモ株式会社代表取締役会長<br>平成20年9月 同社代表取締役会長兼社長<br>平成21年1月 同社代表取締役会長<br>平成21年4月 当社代表取締役会長<br>平成23年4月 株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役会長<br>平成25年6月 同社取締役顧問 (現任)<br>当社取締役顧問 (現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社コーエーテクモゲームス取締役顧問 | 455,466株       |
| <b>【取締役候補者とした理由】</b><br>柿原康晴氏は、当社及び株式会社コーエーテクモゲームスの代表取締役会長としての経験・実績を有しております。<br>当社及び当社グループ各社の要職を歴任してきた経営者として、当社の経営への助言及び監督をしていただけると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。                                                              |                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                                   | ふ り が な<br>氏 名<br>(生 年 月 日)             | 略 歴、当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 所有する当<br>社の株式数 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 9                                                                                                                                                                                                                                            | て じ ま ま さ お<br>手 嶋 雅 夫<br>(昭和32年11月18日) | 昭和57年4月 株式会社博報堂入社<br>平成4年3月 アルダス株式会社（現アドビシステムズ株式会社）代表取締役社長<br>平成6年11月 マクロメディア株式会社（現アドビシステムズ株式会社）代表取締役社長<br>平成13年2月 ティー・アンド・ティー株式会社代表取締役社長（現任）<br>平成16年6月 パーセクアンドエーティー株式会社（現パーセク株式会社）代表取締役社長（現任）<br>平成18年3月 オープンテーブル株式会社代表取締役CEO<br>平成26年6月 当社社外取締役（現任）<br>平成27年5月 株式会社ゼットン社外取締役（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>ティール・アンド・ティール株式会社代表取締役社長<br>パーセク株式会社代表取締役社長<br>株式会社ゼットン社外取締役 | 288株           |
| <b>【社外取締役候補者とした理由】</b><br>手嶋雅夫氏は、ITとマーケティングの分野で数々の事業を立ち上げるとともに、3社の米国家事業会社本社の経営陣の一員としてナスダック上場会社の経営や株式公開に携わり、それらの日本法人の代表を務めるなど、要職を歴任されております。<br>グローバルな経営者としての豊富な経験と幅広い知識を活かし、当社の経営に実践的・多角的な視点から助言及び監督をしていただけると判断し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。 |                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |
| 10                                                                                                                                                                                                                                           | こ ばやし ひろし<br>小 林 宏<br>(昭和32年4月5日)       | 昭和55年4月 野村證券株式会社入社<br>平成3年1月 株式会社スクウェア（現株式会社スクウェア・エニックス）入社<br>平成3年4月 同社取締役<br>平成12年1月 株式会社ドワンゴ入社<br>平成12年5月 同社取締役<br>平成12年9月 同社代表取締役社長<br>平成24年12月 同社取締役相談役<br>平成27年6月 当社社外取締役（現任）                                                                                                                                                                                | 8,280株         |
| <b>【社外取締役候補者とした理由】</b><br>小林宏氏は、変化の著しいエンタテインメント業界において長年にわたり要職を歴任してこられました。<br>経営者としての豊富な経験と幅広い知識を活かし、当社の経営への助言及び監督をしていただけると判断し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。                                                                                   |                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                          | ふ り が な<br>氏 名<br>( 生 年 月 日 )            | 略 歴、 当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 所有する当<br>社の株式数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 11                                                                                                                                                                  | さ とう たつ お<br>佐 藤 辰 男<br>(昭和27年 9 月 18 日) | 昭和61年 5 月 株式会社角川メディア・オフィス取締役<br>平成 4 年 6 月 同社代表取締役常務<br>平成 4 年10月 株式会社メディアワークス代表取締役<br>平成11年 6 月 株式会社角川書店(現株式会社KADOKA<br>WA) 取締役<br>平成12年 4 月 株式会社トイズワークス代表取締役社長<br>平成12年 9 月 株式会社ドワンゴ監査役<br>平成15年 4 月 株式会社キャラクター・アンド・アニ<br>メ・ドット・コム(現株式会社キャラ<br>アニ) 代表取締役社長<br>平成16年 6 月 株式会社メディアリーヴス代表取締役社長<br>株式会社エンターブレイン代表取締役会長<br>平成17年 4 月 株式会社メディアワークス代表取締役会長<br>平成17年10月 株式会社富士見書房代表取締役会長<br>平成17年12月 株式会社角川モバイル(現株式会社ブ<br>ックウォーカー) 代表取締役社長<br>平成18年 2 月 株式会社メディアリーヴス代表取締役<br>会長兼社長<br>株式会社アスキー代表取締役社長<br>平成20年 4 月 株式会社角川グループホールディングス<br>(現株式会社KADOKAWA) 代表取<br>締役社長<br>平成21年12月 株式会社ドワンゴ取締役<br>平成26年10月 カドカワ株式会社代表取締役社長<br>平成27年 6 月 同社代表取締役会長<br>平成28年 4 月 学校法人角川ドワンゴ学園理事長<br>平成29年 6 月 カドカワ株式会社取締役相談役<br>平成30年 6 月 当社社外取締役(現任) | —              |
| <b>【社外取締役候補者とした理由】</b><br>佐藤辰男氏は、総合エンタテインメント企業グループである角川グループにおいて長年にわたり要職を歴任してこられました。<br>経営者としての豊富な経験と幅広い知識を活かし、当社の経営への助言及び監督をしていただけと判断し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。 |                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 襟川恵子氏、襟川陽一氏及び襟川芽衣氏の上記「略歴、当社における地位及び担当(重要な兼職の状況)」の欄には、当社の親会社である株式会社光優ホールディングス及びその子会社における現在又は過去 5 年間の業務執行者であるときの地位及び担当を含めて記載しております。
3. 手嶋雅夫氏、小林宏氏及び佐藤辰男氏は社外取締役候補者であります。
4. 手嶋雅夫氏、小林宏氏及び佐藤辰男氏は現在当社の社外取締役であります。各氏の社外取締役としての在任期間は、本定時株主総会終結の時をもって、それぞれ 5 年、4 年及び 1 年となります。
5. 当社は、手嶋雅夫氏、小林宏氏及び佐藤辰男氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。各氏が再任された場合は、当社は引き続き各氏を独立役員とする予定であります。

以 上

メ 毛

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school handwriting practice paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

## 株主総会会場ご案内図

【会場】 横浜ベイホテル東急

地下2階 アンバサダーズ ボールルーム

神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番7号

TEL : 045-682-2222 (代表)

【交通】 みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩約1分

J R線・横浜市営地下鉄 桜木町駅より徒歩約10分

